

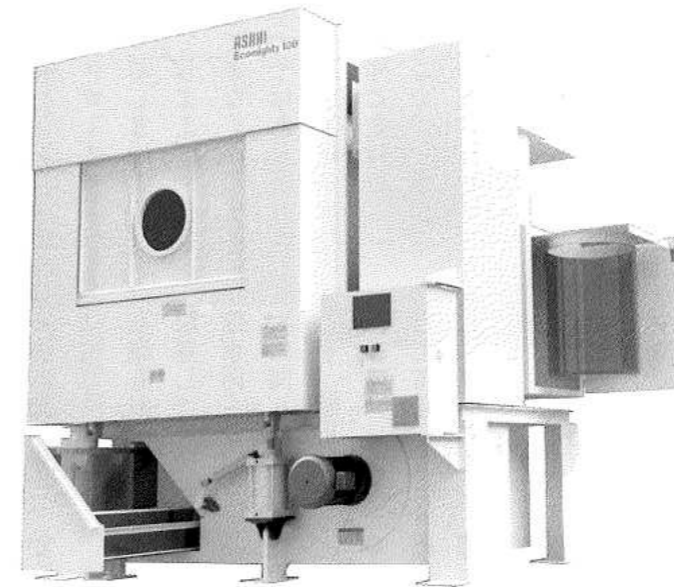
作業環境改善と 社内の CSR・ESG の取組み

株式会社アサヒ製作所

埃や異物を回収して環境改善

株式会社アサヒ製作所は近年の働き方改革の奨励に伴い、リネンサプライ工場の環境改善に貢献する機器の提案を行っています。リネン工場は暑さ対策や埃っぽい環境での作業改善がまだまだ行われておらず今後の課題にもなっています。

リネンサプライ工場に入荷する品物は繊維製品がほとんどのため、埃や繊維くずと共に異物が多く含まれてくる場合があります。



▲ダストコレクター

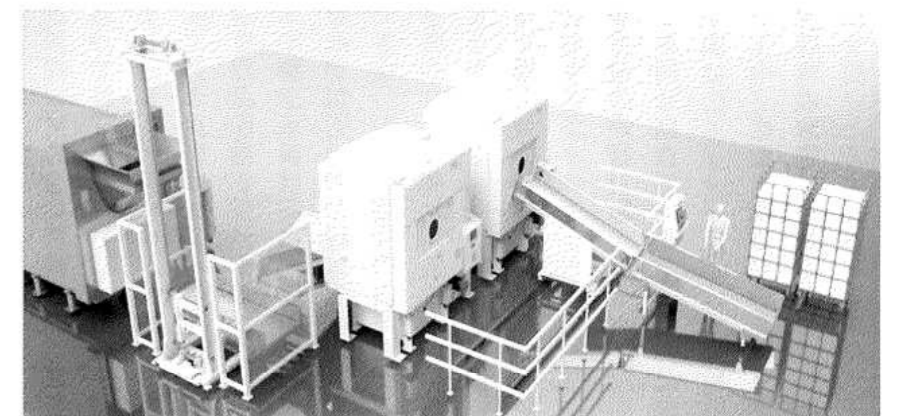
入荷した品物を仕分けする場合、埃は作業環境を悪化させ仕分けエリアを埃のジュリータンで包んだようになってしまっています。

また、洗浄前の品物には多様な異物が混入しており、これらを取り除かないと洗浄乾燥工程で品物を破損させたりインク等で染まり、商品価値の無いものになってしまうことがあります。

あるいは、ナイフやフォーク、金属、ガラス片などが混入し、連続で洗浄すると脱水機のメンブレンを破損させてしまうことがありますが、仕分けは重要な作業工程になっていきます。

おしほり業界で目にする洗浄前のゴミ取りは、連続式で埃などが飛び散る機構でしたが、弊社ではロット式で埃と異物を同時に除去するダストコレクターを開発し、作業環境の改善に貢献できるようにしました。

このダストコレクターの特徴は、客先別ロットで管理できるため品物が混じらないことと、埃除去行程中に異物も除去し、埃と異物を別々の回収BOXに収納できることです。



▲設置例

トンネル乾燥機をベースに内胴はパニング穴ではなくステンレスの丸棒を縦にした構造でインナードラムを構成しています。

排風ダクトが無く、内胴の回転と品物の落下風圧で埃をフィルターに回収し異物は丸棒の隙間から除去し異物回収しています。

取BOXに収納されます。

◇用途

シーツやカバー、タオル、ガウン、浴衣などほとんどのリネン品に対応し、埃の除去と異物除去を行いながら仕分け易いようダストコレクター内でほぐし作用効果もあります。

◇工程

入荷品を客先ロット別に定量をコンベヤーに投入し、スタートボタンを押すと自動でダストコレクターに投入された後、入口ドアが閉まり、密閉状態で埃と異物除去を行います。

指定の時間が経過すると出口ドアが開き、埃と異物が除去された品物は仕分け作業場へと搬送され、品種別に仕分けし計量後洗浄されます。



▲ダストコレクターの特殊内胴



▲災害用備蓄毛布の寄贈式

品物が排出され、出口ドアが閉じると入口ドアが開き、次の品物が投入されます。

◇効果
入荷した品物の埃を仕分け前に除去するため、仕分け作業時の埃っぽい環境を無くし、作業の環境改善に貢献します。また、異物も除去するため品物や機械へのダメージを低減させることができます。

社会や環境と共存する企業へ

弊社は働き方改革と一緒にCSRやESGの取組も行っています。アサヒ製作所の親会社であるフェローテックホールディングスが、グループ全体で取り組んでいることも紹介させていただきます。

できます。

CSR (Corporate Social Responsibility) とは、企業が社会や環境と共存し社会に与える影響に責任を持つことと定義され、環境、社会、経済へのマイナス影響を最小化し、良い影響を最大化するものとし、企業が自らの事業活動により環境や社会に及ぼす影響への責任ということになります。

ESG (Environment, Social, Governance) とは、環境、社会、ガバナンスの頭文字を取ったもので、企業の長期的な成長のためにはESGが示す3つの観点が必要だと世界的に広まり、企業の株主である機関投資家の間で急速に広がってきています。

従来は財務情報だけを重視するのではなく、ESGも考慮に入れるように



▲毎朝の清掃作業

なっています。

この一環として、アサヒ製作所では本社工場周りを毎朝全員で草取りや清掃をしています。また、社会貢献できるように地元自治体への災害用備蓄毛布の寄贈なども行っています。